【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【公表番号】特表2020-530030(P2020-530030A)
【公表日】令和2年10月15日(2020.10.15)
【年通号数】公開・登録公報2020-042
【出願番号】特願2020-528497(P2020-528497)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/737　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/737
Ａ６１Ｐ　19/08
Ａ６１Ｐ　19/02

【手続補正書】
【提出日】令和3年7月19日(2021.7.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
磁気共鳴画像法（ＭＲＩ）によって評価される、哺乳類の関節における骨髄浮腫病変の治療における使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩であって、
前記哺乳動物が、該関節において変形性関節症に罹患しているものであり、
数値的評価スケール（ＮＲＳ）によって判定される通り、治療後の前記関節における疼痛が軽減され、
Ｌｙｓｈｏｌｍ膝関節スコアによって判定される通り、前記関節の機能が、治療後に改善される、
前記使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項２】
前記変形性関節症が、足首、股関節、膝関節、肩関節、脊椎（脊椎症）、および手首からなる群から選択される接合している関節にある、請求項１に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項３】
前記ポリ硫酸ペントサン（ＰＰＳ）が、ポリ硫酸ペントサンのナトリウム塩（ＮａＰＰＳ）、ポリ硫酸ペントサンのマグネシウム塩（ＭｇＰＰＳ）、ポリ硫酸ペントサンのカルシウム塩（ＣａＰＰＳ）、およびポリ硫酸ペントサンの亜鉛塩（ＺｎＰＰＳ）からなる群から選択される、請求項１または２に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項４】
前記ポリ硫酸ペントサン（ＰＰＳ）が、ポリ硫酸ペントサンナトリウム（ＮａＰＰＳ）である、請求項３に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項５】
治療が、筋肉内（ＩＭ）もしくは皮下（ＳＣ）経路による注射投与、静脈内（ＩＶ）投与、関節内（ＩＡ）投与、関節周囲投与、局所的投与、坐剤を介した投与、または経口投

与によるものである、請求項１～４のいずれか一項に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項６】
前記治療が、ポリ硫酸化多糖または許容されるその塩を、１用量あたり約１～２ｍｇ／哺乳動物１ｋｇの有効量または固定用量として、約２５ｍｇ～３００ｍｇの間の有効量で、哺乳動物に投与することによるものである、請求項１～５のいずれか一項に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項７】
前記治療が、ポリ硫酸化多糖または許容されるその塩を、１用量あたり約１～２ｍｇ／哺乳動物１ｋｇの有効量または固定用量として、約１５０ｍｇの有効量で、哺乳動物に投与することによるものである、請求項１～６のいずれか一項に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項８】
投与が皮下（ＳＣ）注射によるものであり、該ＳＣ注射が緩徐なＳＣ注射である、請求項５～７のいずれか一項に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項９】
ヒトへの投与が、１日１回、週２回、または週３回の治療レジメンでの投与によるものである、請求項５～８のいずれか一項に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項１０】
ヒトへの投与が、投薬の間隔が、最短３日間であり、最長４日間である週２回の治療レジメンでの投与によるものである、請求項９に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項１１】
ヒトへの投与が、６週間にわたる週２回の治療レジメンでの投与によるものである、請求項１０に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項１２】
前記治療レジメンで投与されるポリ硫酸化多糖の合計用量が、約２００～４０００ｍｇである、請求項５～１１のいずれか一項に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。
【請求項１３】
磁気共鳴画像法によって評価される通り、骨髄浮腫病変の存在が縮小または消散される、請求項１～１２のいずれか一項に記載の使用のためのポリ硫酸ペントサンまたは許容されるその塩。